

子どもと向き合える2学期制に

1月18日に行いました2学期制保護者説明会には180名程のご参加をいただきました。真冬の寒い折り、ご多用の中、多くの方にお集まりいただき誠にありがとうございました。短時間の説明で不十分な面もあったかとは存じますが、本校が進めようとしている2学期制の概要についてはご理解いただけたのではないかと思います。

冒頭、私の挨拶の中で「**今、スーパーに納豆がない!**」という話をしました。この話をさせていただいた趣旨は、私たちが一つの情報に踊らされることなく**情報を吟味し、自分で考え、判断することを大事にしたい**、ということにありました。勿論、経験することによって確認し、判断するということが大切です。「納豆にダイエット効果あり。実験により2週間でkgやせる効果が・・・」という情報が流れるや、納豆売り切れの店が続出・・・その後のデータ捏造事件。「やっぱりね」と思われた方も少なくなかったはず。納豆の需要は急激に落ち、処分せざるを得なくなったとか。しかし、です。そんな中で続けている人もいます。効果があるか無いかは**自分で確かめて判断する**という人たちです。

船越小学校は来年度2学期制を実施します。私たちが長年慣れ親しんできた3学期制を変えます。それは、1月号の学校だよりでも述べました「**改革とうい言葉に踊らされるのではなく、今の社会の変化、制度・環境の変化に敏感に対応し、常に子どもにとって最善と思われる教育を果敢に求めていかなければなりません**。そのような意味のある改革を断行することには臆病になってはならない、と自戒しています。」という考えに基づいています。ですから本校では「**子どもと向き合える2学期制**」をキーワードにしています。子どもの指導にかかわる時間を少しでも増やしていきます。子どもの心に寄り添い、ふれあう時間を増やしていきます。2学期制も実際にはやってみないと分からないことが多々あるでしょう。子どもにとって良いと信じることにまずは取り組み、本当に子どものためになるのかを確かめます。子どもたちや保護者の思いにしっかり耳を傾ける努力も行い、改善すべきは改善していきます。2学期制の実施についてご理解とご協力を賜りますようどうぞよろしくお願いいたします。

尚、2学期制の実施に伴い、**来年度の運動会は、【6月2日(土)】**に開催する予定です。土曜日の開催、春の運動会ということで賛否両論あることと思いますが、これも実際に行ってみて、春と秋どちらがいいか、「土、日」のいずれがいいか等も考えてみたいと思っています。ご理解、ご協力の程よろしくお願いいたします。

地域の人達へ

毎日学校に行く時や学校から

家に帰るとき、いつもいつもあり
がとうございます。これからもよ
ろしくお願いいたします。
五年男児

毎朝、子どもたちの安全を見守ってくださる地域の方、保護者の方がいらっしゃいます。この寒い中、本当に有り難いことだと感謝の気持ちでいっぱいです。子どもたちに明るいあいさつもしっかりかけてくださり、子どもたちはさぞかし元気づけられていることでしょう。「君は今朝、元気がなかったよ」「さんは今朝はまだ通ってないね。休むのかな」と、子どものことを気にかけてくださいます。**地域で子どもを育てるとはまさに**このようなことを言うのではないのでしょうか。

五年生の男児が感謝の気持ちを丁寧な文字で紙にしたため、毎日立って下さっている地域の方に手渡したそうです。育てていただいている**子どもの成長の一つの姿ではない**のでしょうか。



低学年なわとび大会 1月29日
高学年なわとび大会 1月31日

いずれも児童会(体育委員会)の主催で20分間休憩を活用して行いました。低学年は短縄を高学年は長縄で8の字跳びを。この大会に向け、休憩時間に外で縄跳びをしている姿をよく目にしました。こういう取り組みこそ**無理のない、効果的な体力づくりの方法**だと思います。これからもいろいろ工夫していきたいと思っています。

心に響いたことは

現サッカー日本代表監督 **イビチャ・オシムの言葉**

(日本経済新聞の記事より)

「経験は確かに重要。しかしサッカーは非常に進化が速く、昨日の経験が明日も役立つとは限らない。**大事なのは学び続ける気持ち**。周囲の言葉に耳を傾け、敵味方のプレーに何かを感じ、それを自分に生かせるかどうかだ。」**何事にも当てはまることだと思いませんか。**